



SAMPLE

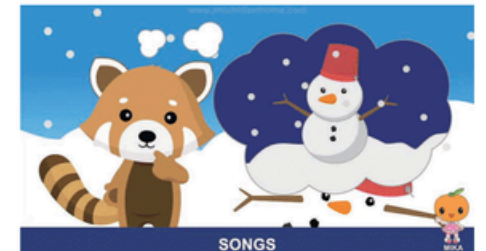
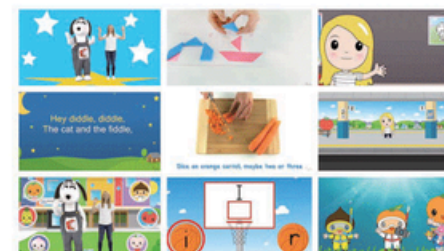
MIKAカリキュラム

ゆくゆくは英文へとつながるさまざまな動詞を学習していきます。ゲーム性のある楽しい取り組みの数々で、手先の器用さなどを育てます。お子さまがすぐできる動作を表す動詞を、実際に体を使いながら覚えていきます。

取り組み項目	1か月目	2か月目	3か月目	4か月目	5か月目	6か月目	6か月間の学習目標
イメージトレーニング	呼吸 残像訓練 シャボン玉で遊ぶ イメージドッツ パンダに会う	呼吸 残像訓練 公園で遊ぶ イメージドッツ お月見	呼吸 オレンジカード 飛行機になる イメージドッツ 空飛ぶイメージ	呼吸 オレンジカード お医者さんになる イメージドッツ 森で動物と遊ぶ	呼吸 残像訓練 BBQを楽しむ イメージドッツ 妖精に出会う	呼吸 残像訓練 テディベアを寝かせる イメージドッツ 動物園に行く	イメージトレーニングのバリエーションを増やしていきながら、さまざまなイメージを英語で楽しめるようになります。
記憶	魔法のカメラ おはなし記憶	魔法のカメラ おはなし記憶	魔法のカメラ おはなし記憶	魔法のカメラ おはなし記憶	魔法のカメラ おはなし記憶	魔法のカメラ おはなし記憶	記憶のトレーニングをゲーム感覚で楽しめるようになります。瞬間的に見たものを英語の誘導に従って選ぶなど、楽しんでいるうちに英語のシャワーをたくさん浴びることにつながります。
基礎概念	[空間認識] front / back [色] 緑・赤・茶	[空間認識] in front of / behind front / back [色] 黄・茶・白	[空間認識] left / right [色] 青・オレンジ・黒	[空間認識] left / right [形] ひし型・十字型	[大小] big / medium / small [形] 三角・台形・ハート形	[大小] big / medium / small [形] 正方形・楕円形・星形	KURIで学習済みの基礎概念を少しグレードアップさせます。更にたくさんの空間認識が徐々に理解できるようになります。形の概念がたくさん身につきます。
ちえ	迷路・影絵 芸術作品 こうち 巧緻性	迷路・影絵 世界の国 巧緻性	迷路 どっち遊び まちがい探し 分類する 芸術作品	迷路 どっち遊び まちがい探し 世界の国 分類する	迷路 推測 仲間外れ 分類する 芸術作品	巧緻性 仲間外れ 推測 分類する 世界の国	迷路を多用することで、先を読む力、推測する力などが徐々に高まります。
もじ・ことば	アルファベット 動詞 フォニックスA~D スポーツ・乗り物	アルファベット 動詞 身につけるもの フォニックスE~H 街	アルファベット 動詞 鳥 持ち物 フォニックスI~L 海の生き物	アルファベット 動詞 身の回りのもの 持ち物 フォニックスM~P 植物	アルファベット 動詞 職業 家の中にあるもの フォニックスQ~U 宇宙	アルファベット 動詞 職業 おもちゃ フォニックスV~Z スポーツ	フォニックスを混ぜながら、言葉の土台となる語彙を豊富に入力していきます。フォニックスはA~Zで始まる単語を使って入力していきます。お子さまの成長に合わせて、自然の中で目にするものも入力し、慣れ親しんでいきます。
かず	タイアップドッツ1~10 数字書き1・2	タイアップドッツ1~10 数字書き3・4	タイアップドッツ1~10 1~100 数字書き5・6	タイアップドッツ1~10 1~100 数字書き7・8	タイアップドッツ1~10 1~100 数字書き9・10	タイアップドッツ1~10 1~100 数字書き1~10	数字をさまざまなアプローチで入力していきます。数字の処理能力が高まっていきます。
絵本	I Have Some Bad News	Guess What! I Have Some Good News!	I'm Going To Take a Bath	It's Bedtime	You Look Very Nice Today	I Don't Want To Get Up Yet!	楽しみながら絵本を一緒に読んでいきます。

取り組みのポイント

- 英語のスキルを身につけていくためには、十分な入力量が必要です。そのために、以下の点に留意しましょう。
- 1回 20分程度の動画視聴の際は、お子さまが意識的に、集中して視聴するように導いてください。
 - プラスアルファのお勧めとして、お子さまのそばで動画を1日数回かけ流してみてください。動画に集中する必要はありません。「英語の音環境を作る」という観点から、有効な取り組みになります。



本教材は、主に英語圏の子供たち(年齢目安:1歳半~4歳)が七田式で学習するために開発されたものです。英語はすべてイギリス英語が使用されています。一部アメリカ英語とは単語の綴り・表現が異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。